

能登半島地震から

若者は何を学んだのか？

どんな未来を描くのか？



能登半島地震復興ユース・フォーラム

Forum for Noto Peninsular Disaster Recovery and Revitalization by Youth



開催日時	平成21年2月14日(土)
開催場所	輪島市文化会館 大ホール
主催	金沢大学能登半島地震学術調査部会 輪島実業高校、輪島高校、門前高校、穴水高校
後援	輪島市、穴水町、朝日新聞社金沢総局、毎日新聞社 北陸総局、読売新聞社金沢支局、北陸中日新聞社 北国新聞社
参加費	無料
問い合わせ	金沢大学能登半島地震学術調査部会 田中(人間社会研究域法学系特任助教) 電話:080-1969-7882 Email:tanaka.j@staff.kanazawa-u.ac.jp

能登半島地震復興ユース・フォーラム

Forum for Noto Peninsular Disaster Recovery and Revitalization by Youth

平成19年3月25日の能登半島地震以降、多くの地元高校生が被災地の復旧・復興に向け積極的にボランティア活動を行ってきました。被災者でもある彼らの取り組みは被災地域の人々を元気づけるだけでなく、復興に向けた勇気のもとなってきました。地震から2年が経過しようとするなか、自ら被災者でありながら被災地支援活動を行ってきた高校生たちが、これまでの活動を通じて感じたこと、彼らが考えるふるさとの未来と復興に向けた展望を発信します。フォーラムには、これまで被災地支援に関わってきた兵庫県の高校・大学生や金沢大学の学生も参加し、地元高校生とともに復興に向けた能登の未来を議論します。

開催日時 平成21年2月14日(土)13:00-16:30

開催場所 輪島市文化会館大ホール

【プログラム】

第1セッション(13:00-14:00)

I 開会挨拶

金沢大学能登半島地震学術調査部会副会長 井上英夫

II 基調講演

被災地NGO協働センター代表・震災がつなぐ全国ネットワーク
顧問 村井雅清氏

「いとしの能登よみがえれ！震災からの復興と再生」

第2セッション(14:15-16:30)

I 各校からの報告

輪島実業高校・輪島高校・門前高校・穴水高校

兵庫県立舞子高校・足湯隊(神戸大学・神戸学院大学)

金沢大学の学生による報告

II 総合討論

◆基調講演者プロフィール

村井雅清氏

1969年兵庫県立兵庫高校卒業、神戸の港湾に8年間就業した後、震災発生まで長田のケミカル業界に従事。震災後「ちびくろ救援ぐるうぷ」(現「ぐるうぷ“えん”」)事務局長(後、代表)として救援活動に取り組む一方、「阪神大震災地元NGO救援連絡会議」の分科会から独立した「阪神・淡路大震災『仮設』支援NGO連絡会」(現:被災地NGO協働センター)の代表となり現在に至る。また、震災後、国内外の災害に対する支援活動に取り組み、海外では過去43回にわたってコーディネーター役を務める。

「CODE海外災害援助市民センター」理事・事務局長、「震災がつなぐ全国ネットワーク」顧問、日本災害復興学会副会長、「しみん基金・KOBÉ」副理事長など。2006年4月より神戸学院大学客員教授。2007年より神戸大学・学生支援GP「地域に根ざし人に学ぶ共生的人間力」運営委員会委員。